

○今年度の活動内容について

これまでの会議（定例会、教育委員との懇談会）の中で、出てきた案は次のとおりです。

【検討案 1】

報告書「中高齢者は子どもたちにどんなことを伝えたいか」の活用策の検討。

- ・ 中高齢者が具体的にできることを検討する。
- ・ 報告書の内容を誰が推進するのか、推進策を検討する。
- ・ 教育委員会（学校教育課、文化課、社会教育課、図書館課）サイドが自主的に考えることと、社会教育委員の皆さんが検討し、更につっこんで提案していただくことはどうか。
- ・ この報告書の配布先を検討する。

これを読んだ中高齢者、市民が気付いて、そういうことがあるんだ、私はこれをやってみようと行動に移したら、すごい価値ではないか。市が何かをやるのではなくて、行動に移す市民がひとりでも増えたら。それを促進するような何かを検討したり、実際に活動してみる。市がやることもあるとは思いますが、個人個人に訴える何かを考えることもいいのでは。

- ・ どうすれば上手く伝えることができるのかをテーマにする。

【検討案 2】

社会教育施設の今後の在り方の検討。

（今年度前半に各館の状況を把握して、後半に意見をいただく。）

- ・ 公共施設マネジメントを推進する中で、社会教育施設においても、統廃合や機能転換を図るなどの「量的な見直し」や計画的に保全・長寿命化に向けた修繕、維持管理コストの縮減などの「質の見直し」を進めたり、施設そのものがコミュニティの中核施設としての役割を求められるようになった。

【検討案 3】

生涯学習大綱の見直しについて。これからは、地域課題の解決に取り組む人材等の育成が大切。生涯学習との関わりについてどう考えるか、ご意見を伺う。

- ・ 平成 20 年 4 月に策定した生涯学習推進大綱は、平成 29 年度に当初設定した概ね 10 年の計画期間が満了することから、平成 26 年度まで進めてきた検証の結果を踏まえ、平成 27 年度に引き続き、生涯学習推進協議会等において改訂に向けた検討を行う。

【検討案 4】

社会教育委員が日頃考えている課題、テーマについて、話し合い、年度末に事例集としてまとめる。